

## 在宅装具利用者の現状と問題点 -今後の義肢装具士の関わりについて考える-

主催 一般社団法人 日本義肢装具士協会  
研修委員会 東北支部  
共催 一般社団法人 日本義肢協会  
東北支部

現在、日本では超高齢社会の一途を辿っており、装具利用者も同様に高齢化しております。そのような状況から、移動手段に限られていることが多く、補装具の修理が必要になっても、義肢装具の製作施設にすぐ相談に行くことが難しいのが現状です。加えて在宅の装具利用者に対し、安心して補装具を使い続けるために、義肢装具士によるアフターフォローが課題となっております。

また、義肢装具士の活動拠点は病院や各施設であり、定期的かつ限られた時間のなかで業務を行うことが多く、装具利用者の個人個人の補装具の使用状況をすべて把握することは難しいのが現状です。また、多職種内で義肢装具士との連携が上手くいかないことにより、的確かつ迅速なフォローが出来ていないことも問題点として考えられます。

本セミナーでは、現在、在宅で活動されている義肢装具士や理学療法士の先生方をお招きし、補装具の使用状況の問題点、在宅の装具利用者の現状を実際の症例をもとにそれぞれの立場からみた問題点をお話していただきます。その上で課題の整理を行い、義肢装具士と多職種の連携など、将来的な取り組みについて考える機会としていく予定です。

### 記

- 到達目標 : ① 装具利用者の生活上の装具使用状況の課題について理解できるようになる。  
② 装具利用者の在宅における課題解決に向けて、義肢装具士の役割について考えることができる。  
③ 多職種の業務を理解し、多職種間での連携の課題を明確にすることができる。  
④ より的確かつ迅速なアフターフォローについて理解することができる。

日 時 : 平成 29 年 8 月 26 日 (土) 12:30~17:00  
会 場 : 仙台医健専門学校 第二校舎  
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡 4 丁目 11 - 20  
定 員 : 80 名  
参加費 : 正会員・購読会員 3,000 円  
非会員 7,000 円  
学生会員 無料  
締 切 り : 平成 29 年 7 月 29 日 (土)

以上

### 【注意事項】

参加ご希望の方は件名に必ず「日本義肢装具士協会 東北支部セミナー申込」と記載の上、必要事項（会員非会員の別、会員番号、氏名、勤務先、連絡先住所、電話番号）をご記入の上、**E-mail**にて下記申込受付先までお送りください。

### 【申込み受付・問合せ先】

一般社団法人 日本義肢装具士協会 研修委員会 東北支部  
有限会社 エムサポート

セミナー幹事：長岡 儀英

E-mail : [y.nagaoka928@gmail.com](mailto:y.nagaoka928@gmail.com)